



### 狂犬病の予防、 してますか？

狂犬病は、発症するとほぼ100%死に至る恐ろしい伝染病です。狂犬病という名称から、犬だけの病気と思われがちですが、人、猫やコウモリをはじめとしたほ

んど全ての哺乳動物に感染する病気です。日本において、犬の他の感染症を予防するかどうかは飼い主の判断によりますが、狂犬病は「狂犬病予防法」によって、生後91日以上犬に1年に1回の予防接種を受けさせることが義務付けられています。過去2年間発症例の無い国をWHO(世界保健機構)では「狂犬病清浄国」としていますが、清浄国とされているのは日本を含めほんの十数カ国のみなのです。清浄国の方が例外的であり、世界では3万から5万の人が毎年、狂犬病で亡くなっているのです。日本では昭和32年以降発症例がありませんが、現在、狂犬病ウィルスを持つ野生動物が何らかの形で日本に持ち込まれ、日本で狂犬病が発生する

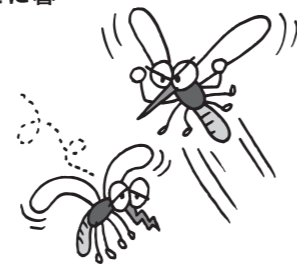
可能性が指摘されています。「もう日本には無い病気だから」と予防をしない方もいらっしゃいますが、実は絶対安全というわけではありません。いざというときに、愛犬の命を守るように、狂犬病の予防接種は毎年きちんと受けさせましょう。



### 恐ろしい病気を 予防しよう！

私たち人間同様、犬にもたくさんの感染症があり、死に至る危険なものもあります。中でも特に恐い病気については、ワクチンで予防できます。ワクチンを

接種したからといって100%かからなくなるわけではありませんが、その病気にかかりにくくなること、たとえかかったとしても比較的軽症で済み、致死率が低くなるメリットがあります。また、中には人に感染するものがありますので、注意が必要です。また、蚊が媒介するフィラリアという寄生虫も要注意。フィラリアは心臓に寄生し、犬の血の流れを悪くすることで色々な悪影響を与え、大量に寄生された場合はもちろん、少数の寄生でも死に至ることがあります。この病気は予防をきちんと行うことで100%防げます。住んでいる地域によって予防する時期が異なり、犬の体重によって薬の量が異なりますので、予防する際には必ず獣医さんに相談をしましょう。愛犬と永く幸せに暮らすためには、恐ろしい病気の予防をきちんとすることが第一です。



### 食事の選び方

私たち人間が当たり前に食べているものでも、犬にとっては害になるものがたくさんあります。タマネギをはじめとするネギ類は、犬を死に至らしめる

成分を含みます。その成分は熱に強く水に溶けるので、ハンバーグやコロッケ、すぎ焼きの残り汁も危険です。また、イカ、タコ、香辛料は胃腸障害を招くことがあります。私たち人間用に味付けされたものは塩分や糖分が多い可能性があり、それらのとりすぎは、心臓病や糖尿病の原因にもなります。人間の子供に、欲しがらからといってタバコやお酒を与える親がいないように、愛犬が欲しがったとしても、健康を害するものをあげないようにしたいものです。毎日の食事として、手作りするのでも良いのですが、人と犬では必要な栄養素が異なり、人間の食材でその栄養素を満たすためには相当の知識と時間が必要です。市販のドッグフードで、「総合栄養食」と書かれているフードは、栄養の計算をきちんと行っていて、それと水だけで愛犬に必要な栄養素を全て満たしているものです。ただし、それぞれの犬によって体に合うフードは異なりますので、ウンチの様子、毛ツヤなどを参考に、最適なフードを選んであげてください。



### リードに注意！

町にはどんなに小さな犬でも、犬というだけで恐怖心を持ってしまう人がいます。「好きだけど何だか怖い。」と言う人もいます。犬が苦手な人にとって

は犬が放れて散歩をしている公園へは怖くて遊びにいきません。役所に寄せられるクレームには、ウンチやおシッコだけでなく、愛犬家のノーリードに対するクレームも思ったより多いのです。特にノーリードにして、愛犬から目を離すことでウンチをした事に気づかない時もありますし、急に相性の合わない犬と出合ったときに制止もしにくくなります。もちろん道では、車や自転車による交通事故が起きるかもしれません。また、リードの長さにも注意が必要です。商店街のように通行人が多い場所で安易にリードを長くしていると、自転車や子供に引っかかり思わぬ事故を引き起こすことがあります。通行人の多い場所では、リードを短めに持つようにしましょう。伸びるリードを使うときは、短くしてロックをかけて使うほうが良いでしょう。犬が苦手な方に対して余計な恐怖心を与えないようにしたり、事故を起こさないようにすることも、愛犬家の努めなのです。



こわい・・・

マナー啓発キャンペーン

第9回

# 全国一斉! クリーン作戦

Dogs Walk For Keep Clean



みんなでマナーを守って  
人と犬が暮らしやすい町に  
しましょう！

この活動は、全国同時に行われ  
100万人の犬の飼い主さんに手渡されています。